

「日本をリ・デザインする」

～ 「近代国家」 から 「未来国家」 へ。 「国のかたち」 を大転換する。 ～

- 明治維新以来の「地方」から「東京」への流れを大転換し、自立した国際都市・東京と、自立した地域による分散型国土に改める。
- 我が国の国土には、未開拓・未活用の領域が数多く存在し、人口減少が加速する時代を迎えているが、「新たな需要」と「成長への可能性」が秘められている。
- 今こそ「日本をリ・デザイン」することで、「個人」のwell-beingを実現する、真の「成熟社会」を実現すべきである。

「リ・デザイン」の処方箋

1. 首都のリ・デザイン

- ◆ 首都機能移転の議論再開
- ◆ 東京の国際競争力と防災力強化
- ◆ 臨時国会の地方開催

2. 国土のリ・デザイン

- ◆ 広域連携強化・地域生活圏の形成
- ◆ 「国土活用・管理法」の制定、「森林リート」の創設
- ◆ 「農ターン会社制度（仮称）」の創設

3. 豊かな暮らしへのリ・デザイン

- ◆ 東京都での税制特例廃止と地方活性化税制深掘り
- ◆ 地方の困りごと解決
- ◆ 二地域居住等による「新たなふるさと」創造

- 基本法の制定
- 内閣総理大臣ヘッドの「日本のリ・デザイン推進本部」（仮称）
- 国会両院に特別委員会等設置。首都機能移転議論の再開等。